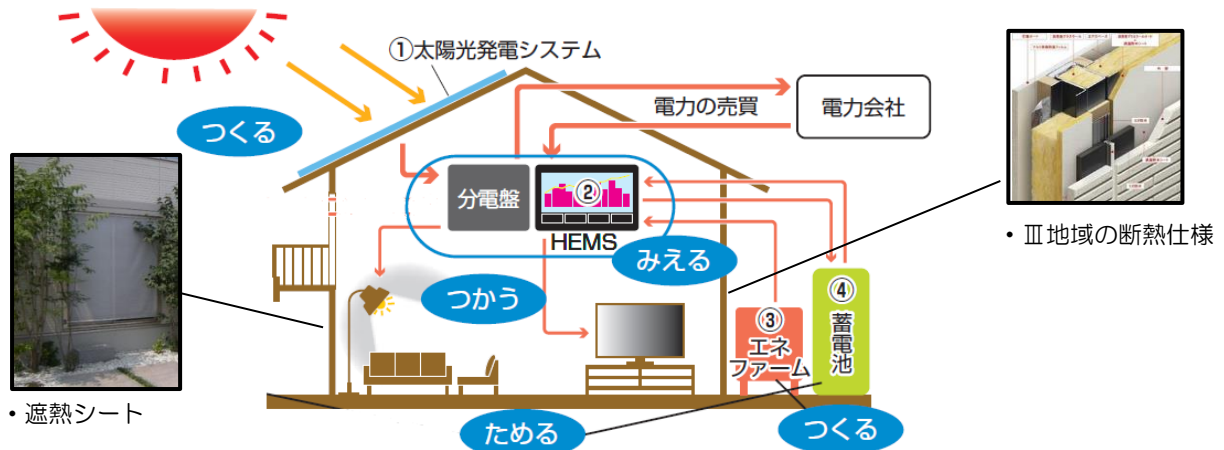


1. はじめに

堺市は、高効率な省エネ機器等を装備したZEH^{※1}の早期実現と普及を目的に、「晴美台エコモデルタウン創出事業」に取り組んでいます。

※1 ZEH:「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス」。住宅の躯体・設備の省エネルギー性能の向上、再生可能エネルギーの活用等により、年間で一次エネルギー消費量が正味(ネット)でゼロまたは概ねゼロとなる住宅のこと。
(出典:低炭素社会に向けた住まいと住まい方推進会議より)

2. 晴美台エコモデルタウンの特徴



■創エネルギー設備(つくる)

- ・太陽光発電システムを全戸に装備
- ・燃料電池(エネファーム)を多くの住戸に装備

■省エネルギー設備(つかう)

- ・断熱仕様をⅢ地域(主に東北地域)を採用^{※2}
- ・燃料電池(エネファーム)若しくは高効率ヒートポンプ給湯器を装備
- ・LED照明、遮熱スクリーン等を装備

■蓄エネルギー設備(ためる)

- ・リチウムイオン電池を全戸に装備

■エネルギーの見える化・コントロール(みえる)

- ・HEMS^{※3}を全戸に装備

■CASBE E評価で全戸Sランクを取得

※2 次世代省エネルギー基準に基づく地域区分のこと。Ⅲ地域は、主に東北地方が該当、近畿地方はⅣ地域。
(出典:住宅に係るエネルギーの使用の合理化に関する建築主の判断と基準)

※3 HEMS:「ホーム・エネルギー・マネジメント・システム」。家庭での電力使用量や発電量などを「見える化」するとともに、エネルギーを「つくる」「つかう」「ためる」をうまく組み合わせ、少ないエネルギーで快適な状態にコントロールする装置のこと。